



## 2022年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年4月28日

上場会社名 株式会社ブイキューブ 上場取引所 東  
 コード番号 3681 URL http://jp.vcube.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 間下 直晃  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 山本 一輝 TEL 03(5475)7250  
 四半期報告書提出予定日 2022年5月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年12月期第1四半期の連結業績（2022年1月1日～2022年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		調整後EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第1四半期	3,608	7.5	677	△36.3	390	△52.4	370	△53.6	300	△61.8
2021年12月期第1四半期	3,356	116.6	1,064	272.5	820	—	798	811.7	787	964.8

(注) 包括利益 2022年12月期第1四半期 730百万円 (△9.6%) 2021年12月期第1四半期 808百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第1四半期	12.37	12.22
2021年12月期第1四半期	32.43	31.47

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年12月期第1四半期	17,026	5,636	32.7	229.23
2021年12月期	15,259	5,100	33.1	207.92

(参考) 自己資本 2022年12月期第1四半期 5,563百万円 2021年12月期 5,046百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2022年12月期	—	—	—	—	—
2022年12月期（予想）	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同期増減率)

	売上高		調整後EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	6,700	11.2	1,500	△3.0	850	△16.7	800	△14.7	700	△23.1	28.84
通期	13,900	20.9	3,380	27.5	2,000	48.0	1,900	54.2	1,500	13.3	61.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期1Q	24,737,400株	2021年12月期	24,737,400株
② 期末自己株式数	2022年12月期1Q	466,443株	2021年12月期	466,443株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年12月期1Q	24,270,957株	2021年12月期1Q	24,268,438株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間の業績は以下のとおりです。

(単位：千円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減	増減率
売上高	3,356,189	3,608,939	252,750	7.5%
営業利益	820,644	390,408	△430,236	△52.4%
経常利益	798,353	370,672	△427,681	△53.6%
親会社株主帰属四半期純利益	787,036	300,333	△486,703	△61.8%

当第1四半期連結累計期間においては、前年に続いて顧客企業に対する映像組み込みサービスや企業・公共空間における防音型コミュニケーションブースの設置販売が伸長し、売上高は前年同期比で7.5%増加いたしました。

一方で、「テレキューブ」に関する広告宣伝費用が発生したことにより、営業利益は前年同期比52.4%減の390,408千円となりました。

営業外損益及び特別損益においては、為替相場が円安基調にある中でのグループ間の資金決済により為替差損10,600千円（前年同期比6.3%減）を計上したほか、持分法による投資損失5,031千円（前年同期比39.5%減）を計上いたしました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

### I. エンタープライズDX事業

(単位：千円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減	増減率
売上高	1,297,087	1,245,126	△51,961	△4.0%
セグメント利益	326,716	257,959	△68,757	△21.0%

エンタープライズDX事業は、主に企業や官公庁等を対象に、社内外のコミュニケーションにおけるDX（デジタルトランスフォーメーション）を支援するサービスを提供しております。

具体的には、自社開発の汎用Web会議システム「V-CUBE ミーティング」や「Zoom」の販売のほか、ディスカッションテーブル「V-CUBE Board」などの災害対策ソリューションやウェアラブルデバイスなど、企業向けのリモートコミュニケーションプロダクトを提供しております。また、顧客企業において映像組み込み型サービスの開発を容易にする「V-CUBE Video SDK」の提供やサービス開発及び運用支援をすることで、顧客企業におけるソリューション開発を支援しております。

当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は、前年同期比4.0%減の1,245,126千円となりました。これは前第1四半期連結累計期間に見られた、緊急退避的にリモートワークを行った企業によるWeb会議システムの需要が一巡したためであります。また、注力事業ではなくなったことによる自社製品比率の低下に伴う限界利益率の緩やかな減少によってセグメント利益率は25.2%から20.7%に減少し、セグメント利益は前年同期比21.0%減の257,959千円となりました。

## II. イベントDX事業

(単位：千円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減	増減率
売上高	1,536,214	1,453,826	△82,388	△5.4%
セグメント利益	479,554	225,667	△253,887	△52.9%

イベントDX事業は、様々な分野におけるイベント、セミナーのリモート化を支援する事業であります。

具体的には、Webセミナー配信サービス「V-CUBE セミナー」や「EventIn」などのセミナー配信プロダクトを提供するほか、イベント配信に係る運用設計、当日の配信サポートや後日のイベントデータ解析などの運用支援サービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は、前年同期比5.4%減の1,453,826千円、セグメント利益は前年同期比52.9%減の225,667千円となりました。これは、顧客企業における小規模Webセミナー配信案件の内製化により案件の受注数が落ち着いたことと、昨年5月に新設した配信スタジオの減価償却費や外注費等の増加によるものであります。

## III. サードプレイスDX事業

(単位：千円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減	増減率
売上高	522,887	909,986	387,099	74.0%
セグメント利益	164,923	72,175	△92,748	△56.2%

サードプレイスDX事業は、自宅や職場とは異なるサードプレイス（第3の場所）の提供や運用支援を行うことで、昨今日本に浸透しつつあるテレワークを1つのワークスタイルとして定着させることを目的とする事業であります。

具体的には、企業及び公共空間への「テレキューブ」の提供、公共空間におけるワークブースの管理運営システムの開発、「テレキューブ」において提供する関連サービスの開発を行っております。

当第1四半期連結累計期間では、セグメント売上高は前年同期比74.0%増の909,986千円となりました。これは、テレワークの浸透に伴って企業及び公共空間でのセキュアなワークブースの需要が増加したことにより販売件数が増加したことによるものであります。

また、セグメント利益は前年同期比56.2%減の72,175千円となりました。これは、当第1四半期連結累計期間においてテレビ及びWeb媒体を利用した広告宣伝活動を実施したためであります。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：千円)

	前連結会計年度	当第1四半期 連結累計期間	増減
資産	15,259,020	17,026,189	1,767,168
負債	10,158,169	11,389,305	1,231,136
純資産	5,100,851	5,636,883	536,031

①資産

第1四半期連結会計期間において、資産残高は前期末比1,767,168千円増の17,026,189千円となりました。これは、3月の年度末による売上高の伸長により売掛金残高が増加したこと、前期末に一時的に減少させていた借入金等のポジションを再度増額したことにより現金及び預金の残高が増加したこと、及び為替レートが円安方向に動いたことで外国子会社にかかる円換算後ののれん残高が増加したことによるものであります。

②負債

負債残高は、前期末比1,231,136千円増の11,389,305千円となりました。これは前期末に一時的に減少させていた借入金等のポジションを再度増額したことにより借入金残高が増加したためであります。

③純資産

上述の通り、借入の実行により負債残高が増加したため、自己資本比率は32.7%（前連結会計年度末は33.1%）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益300,333千円の計上により利益剰余金残高が増加したこと、及び為替レートが円安方向に動いたことで為替換算調整勘定が増加したことで、純資産残高は前期末比536,031千円増の5,636,883千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月期の通期連結業績予想につきましては、2022年2月24日公表の連結業績予想から変更しておりません。

2. 継続企業の前提に関する重要事象等

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,823,797	2,480,282
受取手形及び売掛金	1,728,357	2,393,661
前渡金	49,156	48,550
その他	621,147	546,985
貸倒引当金	△200	△20,896
流動資産合計	4,222,259	5,448,583
固定資産		
有形固定資産	1,694,812	1,672,916
無形固定資産		
ソフトウェア	1,704,740	1,997,519
ソフトウェア仮勘定	661,894	661,081
のれん	3,759,122	3,903,241
その他	62	62
無形固定資産合計	6,125,820	6,561,904
投資その他の資産		
投資有価証券	273,208	344,703
関係会社株式	307,569	304,315
敷金及び保証金	305,460	350,352
長期貸付金	48,755	50,602
繰延税金資産	1,651,506	1,670,310
長期前払費用	82,102	58,637
その他	548,418	564,756
貸倒引当金	△894	△894
投資その他の資産合計	3,216,127	3,342,784
固定資産合計	11,036,760	11,577,605
資産合計	15,259,020	17,026,189

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	546,312	593,866
短期借入金	1,642,912	3,112,208
1年内返済予定の長期借入金	512,980	1,773,420
契約負債	882,928	741,534
賞与引当金	104,119	64,769
未払法人税等	51,897	51,311
その他	837,834	916,133
流動負債合計	4,578,983	7,253,243
固定負債		
長期借入金	4,828,100	3,459,200
リース債務	496,941	422,786
資産除去債務	245,219	245,285
その他	8,925	8,790
固定負債合計	5,579,185	4,136,061
負債合計	10,158,169	11,389,305
純資産の部		
株主資本		
資本金	92,190	92,190
資本剰余金	2,831,834	2,831,834
利益剰余金	2,609,803	2,715,969
自己株式	△794,757	△794,757
株主資本合計	4,739,070	4,845,236
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,380	48,650
為替換算調整勘定	299,904	669,813
その他の包括利益累計額合計	307,284	718,463
新株予約権	2,160	2,160
非支配株主持分	52,336	71,023
純資産合計	5,100,851	5,636,883
負債純資産合計	15,259,020	17,026,189

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
売上高	3,356,189	3,608,939
売上原価	1,658,818	1,947,337
売上総利益	1,697,371	1,661,602
販売費及び一般管理費	876,727	1,271,194
営業利益	820,644	390,408
営業外収益		
受取利息	603	798
受取保険金	250	420
助成金収入	6,449	5,286
投資有価証券評価益	6,057	—
その他	5,601	679
営業外収益合計	18,962	7,184
営業外費用		
支払利息	6,518	10,875
為替差損	11,309	10,600
支払手数料	1,099	170
地代家賃	9,949	—
持分法による投資損失	8,321	5,031
その他	4,053	242
営業外費用合計	41,252	26,920
経常利益	798,353	370,672
特別損失		
固定資産除却損	1,022	759
リース解約損	—	4,170
訴訟和解金	—	7,282
その他	—	630
特別損失合計	1,022	12,843
税金等調整前四半期純利益	797,330	357,828
法人税、住民税及び事業税	309	21,180
法人税等調整額	△1,036	16,880
法人税等合計	△727	38,061
四半期純利益	798,057	319,767
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,020	19,434
親会社株主に帰属する四半期純利益	787,036	300,333

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
四半期純利益	798,057	319,767
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,182	41,270
為替換算調整勘定	△13	369,908
その他の包括利益合計	10,168	411,179
四半期包括利益	808,226	730,946
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	797,344	712,259
非支配株主に係る四半期包括利益	10,881	18,687

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2020年3月31日)を第1四半期連結会計期間の期首より適用したことにより、当第1四半期連結会計期間の期首時点における流動負債の「前受金」882,928千円を流動負債の「契約負債」に組み替えております。また、前連結会計年度における流動負債の「前受金」882,928千円を流動負債の「契約負債」882,928千円に組み替えております。

なお、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2018年3月30日)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2018年3月30日)を第21期の期首より早期適用しているため、当該会計基準等の適用が四半期連結財務諸表に与える金額的影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計基準等の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エンタープライズDX事業	イベントDX事業	サードプレイスDX事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,297,087	1,536,214	522,887	3,356,189	-	3,356,189
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,297,087	1,536,214	522,887	3,356,189	-	3,356,189
セグメント利益	326,716	479,554	164,923	971,194	△150,550	820,644

- (注) 1. セグメント利益の調整額△150,550千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の一般管理費であります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エンタープライズDX事業	イベントDX事業	サードプレイスDX事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,245,126	1,453,826	909,986	3,608,939	-	3,608,939
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,245,126	1,453,826	909,986	3,608,939	-	3,608,939
セグメント利益	257,959	225,667	72,175	555,802	△165,394	390,408

- (注) 1. セグメント利益の調整額△165,394千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の一般管理費であります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。